

### 3 これまでの取組

都はこれまで、平成25年5月に策定した「東京都観光産業振興プラン」等に基づき、東京を世界有数の観光都市とすべく、外国人旅行者を誘致するためのプロモーション活動や、国際会議等のMICEの誘致、地域の観光資源の開発、外国人旅行者の受入環境整備などに着実に取り組んできた。

#### (1) 外国人旅行者誘致の展開

旅行地としての東京を印象付ける「東京ブランド」を国内外に広く発信するため、平成27年3月に策定した「東京のブランディング戦略」に基づき、ロゴ・キャッチコピー「&TOKYO」を活用したPRや、海外テレビでのCM放映、専用ウェブサイトでのプロモーション等に取り組んでいる。今年度からは、民間事業者と連携して東京ブランドの普及に向けたPR等を行う「東京ブランド推進プロジェクト」を実施している。

また、海外からの旅行者を誘致するため、アジア地域及び欧米豪地域を対象として、民間事業者と連携して現地旅行博への出展や海外メディアの招聘等を通じて、東京の観光に関するプロモーションを展開している。

さらに、今後の訪日旅行者の増加が特に期待できるインドネシアやベトナムなどのアジア地域において、商談会や現地の事業者を対象としたセミナー等を実施し、東京の魅力をPRしている。

#### 【平成27年度の主な実績】

- ◆民間事業者との連携による観光プロモーション
  - ・現地旅行博への出展（欧米豪・アジア地域14市場）
  - ・パンフレットの作成・配布（欧米豪地域5言語、中国、韓国、台湾等）
  - ・海外旅行事業者向けセミナーの開催（欧米豪地域15件659名）
  - ・海外旅行事業者の招聘（欧米豪地域、中国、韓国19件117名）
- ◆成長開拓市場における観光プロモーション
  - ・実施地域：フィリピン

- ・メディア向けセミナーの開催（27社13ブロッガー）
- ・旅行事業者向けセミナー・商談会の開催（76社）

## （2）MICE誘致の推進

国際会議等のMICEを巡っては海外都市との誘致競争が激しさを増しているため、平成27年7月に策定した「東京都MICE誘致戦略」に基づき、誘致・開催に向けた支援や海外へのプロモーション活動など、様々な施策を展開している。

国際会議については、国内の誘致団体に対して誘致活動や会場確保に要する経費を支援するとともに、外国人参加者向けに都内の観光ツアーや日本文化を体験できるプログラムを提供している。

また、企業の会議や報奨旅行については、主催者に対して東京への事前視察の機会を用意するとともに、開催時に参加者を対象として東京ならではの魅力的なアトラクション等を提供している。

今年度からは、これまでのM、I、Cに加えて、新たにEの分野である展示会やイベントを対象とした誘致・開催支援を行っている。

### 【平成27年度の主な実績】

- ◆都が支援を行い東京で開催された主な国際会議
  - ・第9回UIC世界高速鉄道会議 参加者数 約1,200人
  - ・第25回アジア太平洋肝臓病学会議 年次総会 参加者数 約4,300人
- ◆都が支援を行い東京で開催された主な報奨旅行等
  - ・Prudential Indonesia（インドネシア） 参加者数 1,100人
  - ・AIA Thailand（タイ） 参加者数 1,168人
- ◆学術系国際会議の誘致で連携した都内大学  
首都大学東京、早稲田大学、東京医科歯科大学

### (3) 魅力を高める観光資源の開発

東京が持つ様々な観光資源を生かした地域の主体的な取組を支援している。

伝統文化や食、産業、自然など東京の多様な特性を生かし、地域自らの発想や創意工夫による観光まちづくりを支援するとともに、都内各地域から新たな地域資源活用のアイデアを募集し、都が事業化の有効性等の実証を行う取組を実施している。

今年度から、多摩・島しょ地域にも国内外からの旅行者を一層呼び込むため、様々な情報発信ツールを活用したPRに加え、外国人旅行者向けの観光ツアーコースの造成や交通アクセスの充実に取り組んでいる。

また、観光協会など地域の観光関連団体が行う水辺の賑わいを創出する取組に対して新たな支援を行っている。

#### 【平成 27 年度の主な実績】

##### ◆地域による観光まちづくり支援

- ・観光発信拠点へのガンダムモニュメントの設置（稲城市）
- ・両区に架かる旧中川「ふれあい橋」のライトアップ整備（江東区・江戸川区）
- ・ものづくりの現場公開のための店舗改修・改築への助成（台東区）

##### ◆地域のアイデアを活用した観光資源の開発

- ・古民家での宿泊や山遊びなどを体験するモニターツアーの実施（檜原村）
- ・船と自転車を組み合わせて都心を巡るモニターツアーの実施（港区・中央区・江東区）
- ・100組を超えるバンドによる、八王子ロックフェスティバルの開催（八王子市）

## (4) 外国人旅行者の受入環境整備

平成 26 年 12 月に策定した「外国人旅行者の受入環境整備方針」に基づき、東京 2020 大会に向けて、東京を訪れる外国人旅行者が安全・安心かつ快適に観光を楽しめるよう、街なかでの観光案内標識や無料Wi-Fi、デジタルサイネージなどの整備に取り組むとともに、観光ボランティアの育成を進めている。

また、観光関連事業者への支援として、宿泊施設に対して無料Wi-Fiの設置やバリアフリー化に要する経費を支援している。

さらに、平成 28 年 4 月には新宿南口のバスタ新宿内に新たな観光情報センターを設置したほか、今年度から、外国人旅行者が多く訪れる地域において、広域的観光案内拠点を整備するとともに、都内の観光案内窓口を拡充強化し、観光案内機能の充実を進めている。

### 【平成 27 年度の主な実績】

#### ◆観光案内標識

新たに 50 基設置するとともに、既存 100 基について表示内容を更新

#### ◆無料Wi-Fiの設置

都立 35 施設で 156 基設置、街なかで 10 基設置

#### ◆デジタルサイネージの整備

新宿、上野で 4 基設置

#### ◆観光ボランティア

- ・新宿、上野で街なか観光案内開始
- ・ボランティア数 1,379 名

## (5) 外国人旅行者の消費拡大に向けた取組

外国人旅行者の消費拡大につながる環境を整えるため、今年度から、インバウンド対応が遅れている小売、宿泊、飲食、交通事業者等に対して新たな支援を行っている。

免税店開設や施設の多言語化等に取り組む事業者に対して、接客やサービス向上に関するセミナーや専門家の派遣等を実施している。また、これまで宿泊施設や飲食店等を対象として実施していた多言語コールセンターサービスを活用し、免税店での手続きや商品の配送を行う際のサポートを行っている

さらに、買い物をする外国人旅行者の利便性を高めるため、観光タクシーで商業施設等を巡るモニターツアーを実施している。

### 【平成 27 年度の主な実績】

#### ◆多言語コールセンターサービスの提供

- ・対象施設：宿泊施設（374 施設）、飲食店（35 施設）、タクシー（1,400 台）
- ・利用言語：英語・中国語・韓国語
- ・利用時間：全日 24 時間
- ・利用施設数：延べ 598 施設

## (6) 日本各地と連携した観光振興

東京 2020 大会の効果を東京以外の地域にも広く行き渡らせるため、日本各地と連携した観光施策を展開している。

外国人旅行者を各地に送客するため、東京と各地を結ぶ観光ルートを設定し、海外への情報発信を行っている。平成 27 年度の東北地域に加え、今年度は中国・四国地域と連携した取組を展開している。

また、今年度から M I C E 誘致についても国内の他都市（札幌市、石川県、京都市、福岡市）との連携を図り、国内を周遊する報奨旅行を共同で誘致するとともに、東京での国際会議の開催機会を捉え、参加者が連携都市を訪れるプログラムを提案している。

さらに、東京から日本各地の魅力を発信する取組として、都庁第一本庁舎 45 階南側展望室において全国の特産品販売や都内アンテナショップの P R 等を実施している。

### 【平成 27 年度の主な実績】

#### ◆日本各地と連携した外国人旅行者誘致

東京と東北地域を結ぶ観光ルートの設定、海外メディア等を対象とした招聘旅行の実施、専用ウェブサイトによる情報発信など

#### ◆都庁展望室における日本全国物産展の開催

4 月から 5 月、1 月から 3 月まで開催（購入者 25,411 人）

#### ◆民間大規模イベントを活用した観光 P R

東京ドームで開催された「ふるさと祭り東京 2016」において、全国各地のマラソン大会などを紹介

以上のように、これまでは「東京都観光産業振興プラン」に基づく施策展開を行うとともに、プラン策定後の状況の変化に対しては様々な計画を個別に策定し、適切に対応してきた。

しかしながら、今後とも観光を取り巻く環境の変化に迅速に対応し、東京を「P R I M E 観光都市」に導いていくためには、新たな視点に立って観光振興を図るための取組を推進していくことが重要である。